

# 日本銀行金沢支店環境行動計画

平成20年6月2日

## 取組方針

日本銀行は日本で唯一の中央銀行として1882年に開設され、金沢支店は、全国で9番目の支店として、1909年に開設されました。

本店が、地域社会へ貢献していくためには、より環境へ配慮した組織となることがこれまで以上に重要であると認識しております。

このため、私たちは、業務遂行に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を行員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーにより、地球温暖化防止に努めます。
- ② 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ③ グリーン製品の使用に努めます。
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を徹底します。

この方針に基づいて行員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全行員に周知します。同時に、環境保全に向けたP D C Aサイクルを確立し、環境にやさしい組織を目指します。

平成20年6月2日

日本銀行金沢支店

支店長 森 俊彦

### 3 環境保全に向けた目標と取組

#### ★目標設定の考え方

「2.環境負荷の概要」に記載のとおり、当店ではこれまでも、クールビズやウォームビズのほか、営業所照明の一部間引き、人のいない部屋の消灯等を通じ、環境問題に積極的に取り組んでおり、その結果、事業活動に伴う二酸化炭素等の排出量削減を実現してきました。

今後は、環境への負荷を過去3年間(17年度~19年度)の範囲内に収めるように努めるとともに、更なる削減に向けて心がけることとします。そのための具体的な取組は以下のとおりです。

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減に向けた取組

- ・作業効率の改善により残業時間を必要最小限とする
- ・事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ・アイドリングの防止や無駄のないアクセル操作など、エコドライブを心がける
- ・車の空調温度を適正温度に設定する

#### (2) 廃棄物の適正管理と排出量の削減に向けた取組(一般廃棄物)

- ・ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・銀行券裁断屑の更なるリサイクル化に努める
- ・詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・製品をできるだけ長期間使用する

#### (3) コピー用紙使用量の削減に向けた取組

- ・無駄な印刷やコピーをやめる
- ・両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・使用済み用紙の裏面を利用する
- ・業務上必要な資料の作成に当たっては、極力簡略化したものとする
- ・業務上必要なデータは、パソコンのファイルサーバーを有効活用し、紙ベースでの保管を最小限度に止める

#### (4) 水使用量の削減に向けた取組

- ・配管からの漏水を定期的に点検する
- ・手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する

#### (5) 環境問題に関する外部への情報発信

- ・いしかわ事業者版環境ISOへの登録を当店HPに掲載する
- ・外部講演等の機会を捉えて、当店の環境問題への取組について外部へ情報発信する

### 4 環境行動計画の実施体制

- (1) 各課長は機会を捉えて、課員に対して環境保全に向けた目標および取組を定期的に周知する。
- (2) 支店長は1年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックする。